R6　魚津市のコミュニティ・スクール　～活動紹介～　⑤

今年度最後の学校運営協議会

各小中学校では、2～3月に今年度最後の学校運営協議会が開催されました。学校評価に係る協議の中で、学校が実施したアンケートの分析結果や学校視察からうかがえる児童生徒の様子等から、めあての達成度や改善に向けた提案等、次年度につながる意見交換がなされました。

東部中学校　地域人材による授業支援

東部中学校では、2月 21 日に第2回学校運営協議会が開催されました。東部中学校では、学校運営の重点の一つとして、「地域とともにある学校づくり」を掲げています。

手縫いの学習

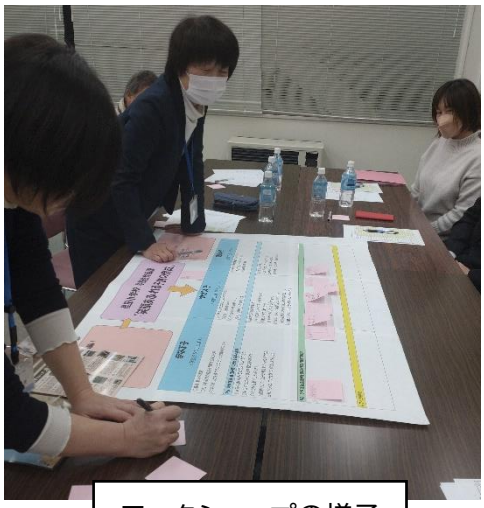
今年度は、地域人材による授業支援として、1年家庭科の裁縫実習の取組の報告がありました。手縫いとミシン縫いの実習に計20時間（1学級5時間×4学級）、8名の地域ボランティアの方が講師として学習支援を行いました。生徒からは「本返し縫いを講師の方に教えていただいたのできれいに縫うことができました」との感想があり、生徒にとって大きなプラスとなる取組でした。なお、地域ボランティアの発掘、連絡調整については、学校運営協議会のメンバーである「地域学校協働活動推進員」と他の委員の方が連携しながらコーディネートされました。大変苦労されたと聞いていますが、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」と一体的に取り組むことが大切であるとされており、今回の取組が他の参考になるものと思います。なお、次年度には、2年の調理実習でも地域の学習支援を計画しているそうです。

ミシン縫いの学習

ワークショップ型の学校運営協議会

経田小学校では、2月 28日に第3回学校運営協議会が開催されました。学校評価アンケートの結果に基づき、教頭先生がファシリテーターとなり、学校関係者評価及び課題に対する改善案、来年度の展望等について、ワークショップ型で協議会が進められ、たいへん活発に意見交換がされていました。

その中で、今年度初めて取り組んだ「昼なべ談義」の評価は高く、次年度も継続することが確認されました。また、「昼なべ談義」で児童が考えた意見は、3月9日の「魚津市まちづくりフォーラム 2025」で高瀬委員が発表することも紹介されました。また、地域資源を活用する取組案についても具体的に提案され、次年度の計画に位置付く予定です。


ワークショップの様子